



初めての
田植え！
どろどろ
ヌルヌル

絵本は宝の山なのに・・・

子どもたちは月2回、始良市立図書館が実施している巡回図書館で好きな絵本を借りて帰ります。絵本バッグの中には、自分で読みたい絵本やお母さんに読み聞かせをしてほしい絵本が入っています。子どもたちは一緒に本を読んだり、読み聞かせしてくれることを楽しみにしています。また、白ポケのみなさんが、子どもたちに行っている読み聞かせも子どもたちは楽しみにしています。お母さん方は時間を見つけて子どもに読み聞かせをしてくれていると思います。もし、読み聞かせができていないお母さん方がいるとすれば、とてももったいないことです。

なぜなら、読み聞かせがもつ効果には、子どもの成長に欠かせないものがたくさんあるということです。言語の発達や読解力の向上、感情の発達と想像力や創造性をかき立て、親子関係をよりよいものにするということなどです。ですから、読み聞かせが

できない理由を探さないことです。5分でも10分でも時間をみつけて読み聞かせをしてあげることです。借りてきた絵本を読み聞かせするこ

とで、子どもとの共感やコミュニケーション力、また、表現力や想像力も刺激します。そのほか親子の絆を深め、信頼関係が築かれ安心感を得ることができます。子どもたちの持ち帰る絵本バッグは、宝の山なんです。このことを自覚し、積極的に家庭でも読み聞かせをしてほしいと思います。ちなみに、3歳は短めでキャラクターの表情が描かれているもの、4～6歳は読み手が子どもと対話できる要素があるものが適していると思います。



広がる遊びの中で・・・

TOPIK

どろんこ遊び



何か見つけ！
何だ?!

どろんこ遊びも一人から複数
人数へ・・・
視線の先にあるもの・・・
新しい発見も !!

写真のどろんこ遊びもそうですが、色水遊びや遊具を使った遊び、どれも子どもたちの手にかかると、多様に変化していきます。進化するといってもいいかもしれません。子どもたちは、単純などろんこ遊びから遊びの中身を変化させながら、たくさんのことを発見し、学んでいきます。

また、花びらを使った色水作り遊びから、もっといろんな色水を作れないか、ジュースみたいに作れないかとか子どもたちなりに考え工夫し、協力して遊びを広めています。さらに、作った色水を使ってジュース屋さんごっこができないかなど、知恵を出し合ったり役割分担したりしながら遊びを楽しんでいます。環境を通して行う幼稚園教育活動の中で、子どもたちが選択できる環境や子どもたちが主体的に活動できるよう支援しています。

それを、幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿を視点におきながらドキュメンテーションという形で「見える化」しているんですね。

写真に言葉をそえたり、動画を撮ったり、活動中の子どもの様子を先生方は具体的に記録に残しているんですね。そのことで、少し前まではできなかったことができるようになった、などの成長に気づくことができます。それから、子ども自身も自分の活動を振り返ることで、新たな気づきを得たり、活動を深めたりすることにもつながっていきます。

また、保護者のみなさんとのコミュニケーションにもつながります。保育ドキュメンテーションの振り返りをするすることで、次の活動の改善に繋がられるのです。



気持ちいい！
最高よ